

平成 30 年度 担い手育成における仕組み作り調査研究業務委託仕様書

1. 業務の名称

担い手育成における仕組み作り調査研究
～職業体験やインターンシップなど職業人材に係る担い手育成プログラムの仕組みに関する調査研究～

2. 業務の主な目的

高山市における若年層は、飛騨地域に 4 年制大学がないことから進学を機会に多くが都心部を中心に転出している。また、若者の地域への愛着が薄れてきていることや、大学卒業後の就職先として職場環境や賃金水準等の問題もあり、高山市に帰郷せず、そのまま都心部に就職する学生が多いため、高山市における人口減少問題は深刻化している。

そのため、小・中・高校生の職業体験や郷土学習の現状を調査し、将来的な Uターン促進に繋がるキャリア教育の調査研究を実施する。また、大学生インターンシップの積極的な受け入れを地域事業者が実施できる体制整備として、インターンシップ受入れの仕組みを構築することで、将来的な U I J ターンの促進に繋げることを目的とする。

3. 業務内容

担い手育成における仕組み作りにおいては、小・中・高校で実施している職業体験や郷土学習の実態調査により現状を把握し課題を明らかにする必要がある。また、大学生インターンシップの誘致・促進においては、地域事業者と大学が、インターンシップ受入れ環境を整備する仕組みを明らかにする必要もあることから、それぞれの視点で要因を分析する必要がある。

(1) 小・中・高校のキャリア教育における調査研究

- ア 高山市内の小・中・高校で実施されている職業体験、郷土学習の現状調査
- イ 学校向けアンケートを作成し、キャリア教育の実態と課題の把握
- ウ 先進的な取り組みをしている学校に対し、ヒアリング調査を実施

(2) 大学生インターンシップ受入れの仕組み作り

- ア インターンシップの先進事例の調査
- イ 高山市内のインターンシップ受入れ事業者の基礎調査（ヒアリング調査）
- ウ インターンシップの課題・問題点の調査

4. 成果品

(1) 小・中・高校のキャリア教育における調査研究

- 小・中・高校におけるキャリア教育の現状調査による報告書の提出

- ※平成 31 年度は最終報告書に高山市版キャリア教育プログラムの提案を含む。
- (2) 大学生インターンシップ受入れの仕組み作り
- インターンシップ受入れ課題に関する現状調査による報告書の提出
- ※平成 31 年度は最終報告書に業種別インターンシップ受入マニュアルを含む。
- (3) 上記にかかるデータ一式 (CD-R)

5. 履行期間

- ・ 契約締結日から平成 31 年 3 月 31 日 (日)
- ・ 想定スケジュール 別紙のとおり

6. 調査研究期間中及び調査研究機関終了後の対応

- ・ 業務期間中は、当センターと調査・分析データの共有や関係者ヒアリング等、連携した取り組みに適切に対応する。
- ・ 調査研究完了後においても、当センターと情報共有し、平成 31 年度事業についても速やかに取組めるよう対応する。

7. その他

- ・ 本仕様書に記載のない事項並びに本調査研究に関して疑義が生じた場合は、速やかに当センターと協議を行い、対応すること。
- ・ 受託者は、業務上知りえた個人情報等の秘密を他人に漏らしてはならない。調査研究機関の終了後においても同様とする。
- ・ 成果品の所有権、著作権は当センターに帰属するものとする。
- ・ 本調査研究により得られた成果品、資料、情報等は、当センターの許可なく他に公表、貸与、使用、複写、漏洩等をしてはならない。

■想定スケジュール

別紙

